平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅡA(SeminarⅡA) 【山城ゼミ】			授業コード	E002432
担当教員名	山城　興介			科目ナンバリングコード	E21201
配当学年	2	開講期	前期		
必修・選択区分	必修	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	必修科目です。				
受講心得	この講義は、皆さんが積極的に関わることを期待します。わからないことは遠慮なく聞いてください。				
教科書	講義の中で順次、指定します。				
参考文献及び指定図書	講義の中で順次、指定します。				
関連科目	情報リテラシーII、プログラミング入門、データ解析A、社会調査法、まちづくりマーケティング、まちづくりマーケティング演習、地域イノベーション論、地域ブランド論、観光学入門、サービスラーニングIA,IB,II,III				

授業の目的	この講義は、地域マネジメントコースの根幹である地域の現状と課題に関心を持ち、パソコンやインターネットを使って、自分で学習していくことを目的としています。
授業の概要	この講義では、地域の現状と課題を認識するため、インターネットで公表されている総務省のRESAS(地域分析システム)を使って、自分の住んでいる町を分析します。その結果をマイクロソフトPowerPointを使ってまとめ、結果をプレゼンテーションしてもらいます。それをもとに、全員で議論をして理解を深めることで、客観的にまとめる能力を養っていきます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： オリエンテーション 本講義の目的や内容について説明します。	適宜指示します。
第 2 週 ： RESAS(地域分析システム)の使い方 総務省の地域分析システム(RESAS)の使い方を説明します。	適宜指示します。
第 3 週 ： RESASによる分析(1) RESASを使って、自分の住んでいる町の状況を分析します。	適宜指示します。
第 4 週 ： RESASによる分析(2) RESASを使って、自分の住んでいる町の状況を分析します。	適宜指示します。
第 5 週 ： RESASによる分析(3) RESASを使って、自分の住んでいる町の状況を分析します。	適宜指示します。
第 6 週 ： 分析結果の取りまとめ(1) マイクロソフトPowerPointを使って、分析結果を取りまとめます。	適宜指示します。
第 7 週 ： 分析結果の取りまとめ(2) マイクロソフトPowerPointを使って、分析結果を取りまとめます。	適宜指示します。
第 8 週 ： 中間報告プレゼンテーション(1)	

分析結果をプレゼンテーションし、議論します。	適宜指示します。
第 9 週 ： 中間報告プレゼンテーション（2） 分析結果をプレゼンテーションし、議論します。	適宜指示します。
第10週： RESASによる分析（4） 議論の結果をもとに、再分析します。	適宜指示します。
第11週： RESASによる分析（5） 議論の結果をもとに、再分析します。	適宜指示します。
第12週： RESASによる分析（6） 議論の結果をもとに、再分析します。	適宜指示します。
第13週： 分析結果の取りまとめ（3） 最終のプレゼンテーションにまとめます。	適宜指示します。
第14週： 最終報告プレゼンテーション（1） 分析結果をプレゼンテーションし、議論します。	適宜指示します。
第15週： 最終報告プレゼンテーション（2） 分析結果をプレゼンテーションし、議論します。	適宜指示します。
第16週： 期末試験 実施しません	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	地域の現状と課題に関心を持つことができる。
【知識・理解】	RESASによる分析結果を取りまとめ、レポートにまとめることができる。
【技能・表現・コミュニケーション】	分析結果を客観的、論理的に説明できる。
【思考・判断・創造】	RESASによる分析結果を考察することができる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		**30点**		

【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		**20点**	
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		**15点**	**15点**
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		**20点**	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	分析結果に対して、考察が優れている学生には加点をします。
発表・その他（無形成果）	プレゼンテーションや質疑応答が優れている学生には加点をします。